

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13

目黒さつきビル3階

TEL 03-6303-9134 FAX 5487-7844

Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東海労働組合

発行人 小林 光昭

編集人 高山 浩

2018年

6月1日

第399号



# JR東海労

http://www.geocities.jp/jrroukairou/

## 第33回定期大会に向けて意思統一！ 全分会代表者会議を開催



J R 東海労は5月22日、都内で全分会代表者会議を開催しました。小林委員長は挨拶で「第33回定期大会は節目の大会となる。大会の成功に向けて、情勢を共有し意思統一を図ろう。今後の組織のあり方について、各地で議論をつくり出そう」と訴えました。続いて、J R 総連柳書記長より、J R 東海労組の状況について報告を受けました。

その後、本部木下書記長が第33回定期大会の方針の基調の骨格を提起しました。骨格は①憲法9条改悪に反対し平和を守るための闘い、②労働諸法制改悪に反対し働く者が主人公となる社会を構築するための闘い、③年



年休裁判第3回(第2次提訴)については第2回)口頭弁論が、東京は5月28日、大阪は30日に開廷されました。前回引き続き、静岡と名古屋の裁判所に駆けつけました。

被告会社は、裁判所より職場の休日取得に関する要員操配について、準備書面での提出を求められており、今回この準備

### 年休裁判 第3回口頭弁論



書面が提出、陳述されました。被告会社の主張は、年間休日・年休日数、行路数、労働日等を考慮した上で要員操配を決めている、という内容です。しかし現実、年休が失効している理由については明らかにしておらず、曖昧な陳述となりました。東京の第4回口頭弁論は7月30日、大阪は弁論準備で7月31日です。

### 要員操配は曖昧な陳述！

い、⑤リニア中央新幹線建設反対のための闘い、⑥労働組合軽視・強権的労務管理を跳ね返す闘い、⑦J R 総連の総団結の闘い、の7点について提起しました。

意見交換では、柳書記長の報告に対する感想や職場における問題点、大会に向けた決意などが積極的に出されました。最後に、本橋副委員長がまとめを行い、J R 総連と共に闘っていくことを全体で確認しました。

### 賃金

労働者はより良い賃金や労働条件を要求する。企業は利潤を上げるために労働者の要求を抑制する。双方の利益が一致しないのは対立関係にあるからである。企業が悪質になればなるほど、利潤追求のため労働者を過労死に追い込むまで働かせる▼「働き方改革法案」が昨日、与党・維新の強行決により衆議院を通過した。当日、国会前には身内を過労死で失った遺族が、法案反対の声を上げていた。「働き方改革」とは、企業にとっては改革であるが、労働者にとっては改悪だ。法案の核心は、残業代ゼロ制度と言われる高度プロフェッショナル制度である。年収1075万円以上の特定の職種の労働者が対象だが、一度法律が通ればほとんど職種や年収が緩和されるだろう▼過労死ライン80時間を上回る100時間が政府の法案である。「働き方改革」という美名に騙されてはならない。全ての労働者は安倍政権にNO！を突きつけよう▼J R 東海労は、年休裁判や更衣時間問題で闘っている。労働者にとつての「働き方改革」とは、職場で発生している身近な問題を解決させることから始めることではないだろうか。労働条件は労働者の手で勝ち取るものである。



# 更衣時間の問題で 労基署が現場調査

中央労働基準監督署が5月28日、東京第一運輸所に調査に入りました。JR東海労はこの間、更

衣時間が労働時間にされない実態を労働基準監督署に相談に行き、会社に改善を要請するように訴えてきました。

今回の調査では、社員からのヒヤリングが行われました。厚生労働省が昨年1月に発表した「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライ

ン」には、私服から制服に着替える更衣時間は労働時間として明確化されています。会社は「指揮命令下がない」として、更衣時間を労働時間にすることを拒否し、JR東海労と対立しています。

## 安倍政権の憲法改悪を許さないぞ！ 各地での憲法集会に参加！

憲法記念日の5月3日「5・3憲法集会実行委員会」主催、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」安

倍9条改憲NO！全国市民アクション」が共催する憲法集会が全国各地で開催されました。有明・東京臨海防災公



園で開催された集会には、全国から約6万人が集まり、JR東海労はJR総連の仲間と共に、新幹線地本組合員・OBを中心に集会に参加しました。集会では「安倍9条改憲NO！全国統一署名(三千万人署名)」は現在1,350万筆集まっています。

また、大阪・扇町公園で開催された「安倍9条改憲許さない！5・3おさか総がかり集会」には、JR総連近畿地協の仲間と共に、新幹線地本組合員・OBを中心に集会に参加しました。集会には約2万人が集まりました。

## 運行管理、安全対策で対立！ 「のぞみ34号」事故の業務委員会

「のぞみ34号」台車亀裂事故関係の申し入れ(申第29、30、37、39、40、42号)に対する業務委員会が5月1日、開催されました。

申し入れに対する回答は不誠実でした。本部が事実関係の確認を行うため「のぞみ34号」の名古屋駅停車時における移動禁止合図掲出の有無、いつの時点で運転取り止めを決定したのかなどを質問したとたん、会社側委員は突然顔色を変え、何度も机を叩き「適切に判断した。本部・本社間でやる議論ではない」と、声を張り上げました。

JR西日本の指令員が乗務員との無線交信で、車両の異常の報告を受けたことに対して、会社は「走行に支障がないとの連絡を受けたから運転を継続させた。念のため乗

務員に車両状態の確認を指示した。西日本管内での無線交信を聞くなど、東海の指令員は暇ではない」と、運行管理の正当性を主張し、非を認めませんでした。基準を満たさない川崎重工製の46台車については、本年12月末までに取り替えを行う反面、会社は「安全上問題ない」として取り替えるまでは現行通り運行させるとい

き」と主張しました。また、JR西日本では、何か異常があれば列車を停止することが許されていますが、東海の場合、異臭がしても乗務員の判断で列車を停止することが許されません。本部は異臭を感じても列車を停止するようにすべきだと主張しました。

## OBは平和の闘いを担おう！ OB会第19回定期総会

JR東海労OB会は5月24日、静岡労政会館で第19回定期総会を開催しました。本部からは、木下書記長が出席しました。

福島OB会長は「安倍政権が進める戦争政策・憲法9条改悪に反対し、国民投票では改憲に反対する人を一人でも多くつ

くらなければならない。

会社は、多くの沿線住民の意見を無視し、リニア中央新幹線建設を強行している。反対する仲間と連帯して建設反対の闘いを展開しよう。OBは現職と共に闘っていく」と挨拶しました。

新役員は以下の通りです。会長・福島一三(静岡)／副会長・伊藤勝(新岡)／鍋島要(静岡)、原春海(名古屋)、工藤孝志(新幹線関西)／事務局長・田中栄六(新幹線関西)／幹事・斎藤孝紀(本部)

## 若い仲間と交流深める！ 第26回野球大会

JR東海労は5月16日、静岡市草薙球場で第26回野球大会を開催しました。組合員・OBとJR貨物労組静岡支部の組



合員、総勢23名が参加し、熱戦が繰り広げられました。試合は、JR東海労チームとJR貨物労組チ



ムで、対戦を2回行いました。1回戦は15対4、2回戦は7対5で両方もJR東海労が勝利しました。試合終了後は、場所を移して懇親会を行い、絆を深めました。